自転車の基礎情報

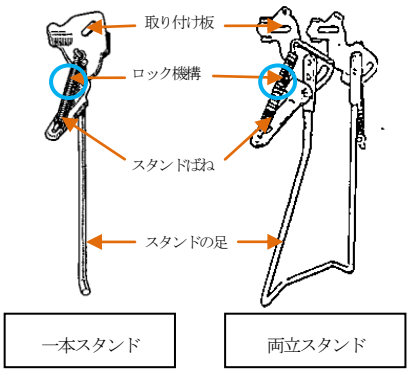
平成２８（２０１６）年７月２０日　No. １０

シティ車のスタンドの構造と機能

シティ車のスタンドは普段何気なく利用しているため、詳しく見たことはないかもしれません。スタンドの役割というと、シティ車を止めるときに立て倒れないようにすることですが、今回はスタンドの構造や機能についてご紹介することにします。

まず、スタンドをかがんで見てみると、スタンドの足、フレームに取り付けるための取り付け板、走行中持ち上げておくためのスタンドばね、スタンドを立てた状態のときに跳ね上がりを防ぐロック機構から構成されていることが分かります。シンプルな構造ですがとても合理的に作られています。

そして、シティ車のスタンドは、大きく分けて、一本スタンド、両立スタンドの2種類です。鉄、アルミ、ステンレスなどで作られていて、鉄製は汎用、アルミは軽量、ステンレスはサビにくい、といった特徴があります。



ところで、一本スタンド、両立スタンドのいずれにも長所短所はあります。日常的にスーパーなどで買い物をする、前カゴに鞄などを入れる、風の影響を受けやすいラックのない屋外の駐輪場に長時間自転車を置くことが多い、などが利用状況として考えられる場合には、両立スタンドの方が利用していて都合がよいでしょう。両立スタンドの一番の長所は一本スタンドより両立スタンドの方が倒れにくいということです。両立スタンドは両側で踏ん張ってくれますが、一本スタンドは立てたとき、スタンド側にシティ車が寄りかかる状態になっているので、スタンドがない方は当然のことながら倒れやすいのです。シティ車が倒れた時には、ブレーキレバー、ハンドルのグリップ、カゴやベルなどにダメージを受けることになります。

一方、両立スタンドは構造が少し複雑になります。両側から固定するので、タイヤやチューブの交換で後輪を取り外すときには、一本スタンドに比べて少し手間がかかります。また、スタンドの重量も一本スタンドに比べて重くなります。

最後にとても大切なことですが、「一本スタンドを備えた自転車には、幼児用座席を取り付けてはいけない。」と日本工業規格（JIS）に明記されています。これからはスタンドにも目を向けましょう。

次号は、平成28年8月22日に発行を予定しています。

＜発　行＞
一般財団法人自転車産業振興協会
〒141-0021 東京都品川区上大崎３－３－１ 自転車総合ビル４階
電話 ： 03-6409-6922　　FAX ： 03-6409-6868　http://www.jbpi.or.jp